TECH ONE

TECHNICAL SHEET

氏名:TK

年齢: 24

最寄り駅: 宇都宮線

資格: sikaku

自己紹介: zikoPR

■ スキル一覧

【スキルレベルの判断基準】

S: 専門家レベル - その分野のエキスパートとして、複雑な問題解決や指導が可能

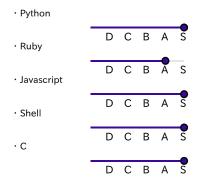
A: 上級レベル - 実務経験が豊富で、独力でプロジェクトを遂行可能

B: 中級レベル - 基本的な実務経験があり、チーム内で活躍可能

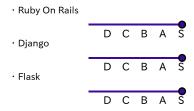
C: 初級レベル - 基礎知識があり、サポート業務が可能

D: 学習中 - 現在学習中のスキル

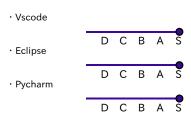
【プログラミング言語】



【フレームワーク】



【開発環境】



【セキュリティ製品】

· Splunk

D C B A S

・スキル管理WEBアプリ作成

期間: 2025年06月11日 ~ 2025年06月13日

説明: スキル管理WEBアプリをpythonで作成

技術: ["python"]

test

期間: 2025年06月10日 ~ 2025年06月28日

説明: 概要が提供されていないため、職務経歴書用の実績説明を生成できません。

例として、もしプロジェクト概要が以下のようなものだった場合を想定して、どのような実績説明が生成できるかの例をいくつか示します。

例1:

プロジェクト概要:

顧客管理システムの刷新プロジェクト。老朽化した既存システムを最新技術を用いてクラウドベースに移行し、顧客データの一元管理と業務効率化を目指した。主な機能として、顧客情報の検索・登録・更新、問い合わせ履歴の管理、レポート作成機能などを実装。チームリーダーとして、要件定義、設計、開発、テスト、本番移行までプロジェクト全体を統括した。

職務経歴書向け実績説明:

プロジェクトリーダーとして、顧客管理システム刷新プロジェクトを成功裏に完遂: 老朽化した既存システムをクラウドベースに移行し、顧客データ

技術: ["['[\"[\\\\"python\\\\\"]\"]']"]

・スキル管理WEBアプリ作成

期間: 2002年05月07日 ~ 2004年09月08日

説明: 術スタック: Flask (Python) と Supabase を利用し、エンジニアのスキル管理アプリケーションを開発。 開発内容: エンジニアのスキル情報を登録・管理する機能の実装。 Supabase をバックエンドデータベースとして採用し、データの永続化と効率的な検索を実現。 Flask を用いて、ユーザインターフェース (UI) とバックエンドロジックを統合した Webアプリケーションを構築。 成果: エンジニアのスキル情報を一元管理できるシステムを構築し、情報共有の効率化に貢献。 Supabase の採用により、データベースの構築・運用コストを削減し、開発期間を短縮。 Flask のフレームワークを活用し、スケーラブルで保守性の高いアプリケーションを開発。 担当役割: 要件定義、設計、開発、テスト、デプロイまで、アプリケーション開発の全工程を担当。 Supabase データベースの設計と最適化。 Flask を用いたバックエンド API の開発とフロントエンドとの連携。 自己評価: Python、Flask、Supabase を用いたフルスタック開発経験を通じて、Webアプリケーション開発スキルを向上。 データベース設計や API 設計の重要性を再認識し、より効率的な開発プロセスを確立。 技術選定から実装、運用までの一連のプロセスを経験し、プロジェクトマネジメント能力を向上。

技術: ["Windows10、Teams、Word、Excel、 PowerPoint、VMware、 PowerShell、 Citrix Workspac e"]

・へんこう

説明: プロジェクト名: (プロジェクト名を記入)

(プロジェクトでの役割を記載)

(具体的な業務内容を記載)

(具体的な成果を数値化して記載)

(課題と解決策を簡潔に記載)

(使用した技術やツールを記載)

(プロジェクトから得られた教訓やスキルアップを記載)

技術: ["css,php"]

作成日: 2025/06/13